

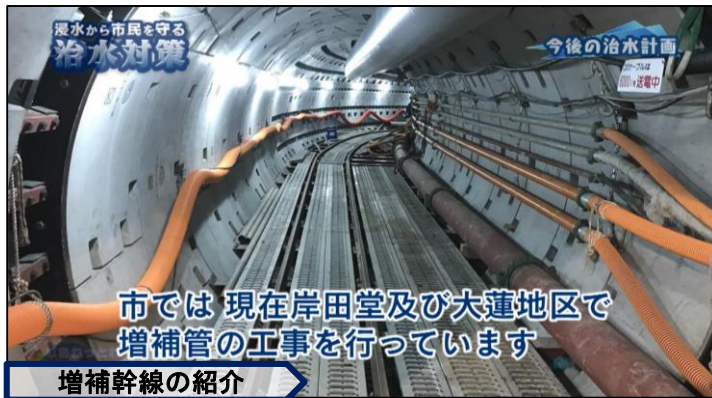
# 各部会における取り組み報告

## HPコンテンツやYoutubeの充実

●「バーチャル見学会in寝屋川流域」ページの開設



●東大阪市Youtube



●寝屋川水系改修工営所Youtube



## メディアによる広報活動

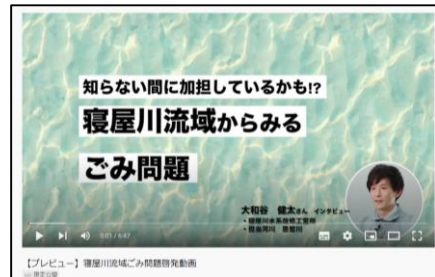


## 寝屋川流域のごみのポイ捨て防止かかる啓発活動

●啓発看板の作成および設置



●寝屋川流域のごみのポイ捨て防止かかる啓発動画作成



広告換算値 **21,252,000円**

(R3年度実績 ●テレビ: 3回 ●新聞: 5回)

(R2度 8,007,900円 テレビ: 2回 新聞: 3回)

令和4年度はさらにHPコンテンツの充実  
施設見学会の開催

# 寝屋川流域協議会HPコンテンツの充実

## ●寝屋川流域協議会バナーの作成

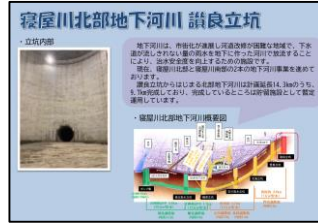


寝屋川流域協議会HPへのリンクとなる「協議会バナー」を作成。

各市HPへ掲載することで、アクセス数UPを促します。

## ●ウォークイベント見学予定施設紹介

令和4年3月5日開催予定だった「寝屋川流域を巡るウォークイベント」が新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い中止となったことから、見学予定施設の紹介資料をHPに掲載しました！



▲施設紹介一例（讃良立坑）

## ●「バーチャル見学会in寝屋川流域」ページの開設



寝屋川流域の治水施設や下水道施設の映像や水環境改善対策動画の掲載ページを開設しました！施設見学会に参加しなくても施設の内部や事業について見て学ぶことができる内容となっています。

## 【掲載ページ】

・寝屋川流域のイベント情報

[https://www.pref.osaka.lg.jp/kasenseibi/neya\\_ryuikikyogikai/neyakyo\\_event.html](https://www.pref.osaka.lg.jp/kasenseibi/neya_ryuikikyogikai/neyakyo_event.html)

# 寝屋川流域協議会Twitterの定期更新

令和2年度から寝屋川流域協議会の広報検討WGにてTwitterの定期更新を開始。週に1回更新するよう年間更新計画を作成しました。



フォロワー数 187名 (R4.3月時点)

定期更新前 (R1年度末 72名) から約**2.6倍**増！

# 寝屋川流域のごみのポイ捨て防止かかる啓発活動

## ●啓発看板の作成および設置 ●啓発動画の作成



寝屋川流域のごみのポイ捨て防止を啓発するため、河川に設置する看板や、今後イベント等で使用する啓発動画を作成しました！動画については、Youtubeでも公開しています。

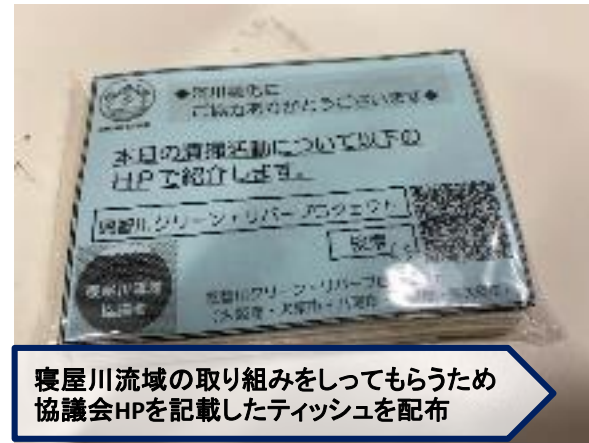


## 恩智川CRP(クリーン・リバープロジェクト)における広報活動

恩智川では、流域住民と連携した清掃活動を実施。  
清掃活動の参加者に対して、寝屋川流域の取り組みを知ってもらうための広報を行った。



恩智川CRPのようす



寝屋川流域の取り組みを知ってもらうため  
協議会HPを記載したティッシュを配布

## 新計画の策定にかかるパブリックコメントの実施

寝屋川流域水環境改善計画(令和4年版)(素案)  
に対する府民意見の募集を行った。  
実施期間: 令和4年1月11日~2月10日  
募集結果: 意見1件

概要: 以下について寝屋川流域の水環境の改善を図っていく。

### 【取組の3本柱】

- ・水質の保全、水量の確保
- ・河川の景観、生活環境の改善
- ・水辺空間の利活用の促進

## 平野川におけるスカム対策推進にかかる広報

平野川におけるスカム対策を推進するため、薬剤を活用した底質改善対策を試行実施している。

試行実施にあたり地元住民に周知を行った。

試行実施にあたり、専門家の意見を聴取するため  
検討部会を開催している。

検討部会の開催にあたり  
報道提供するとともに、  
検討部会  
の資料をHPに公開した。



薬剤散布のようす

## 広報活動の評価指標(広告換算値)

「広告換算値」とは、新聞・テレビ等のメディア上に掲載された際の効果や認知効果を、同じように広告として購入した場合の広告費用に換算し、その金額で評価するといった広報啓発の評価指標のこと。

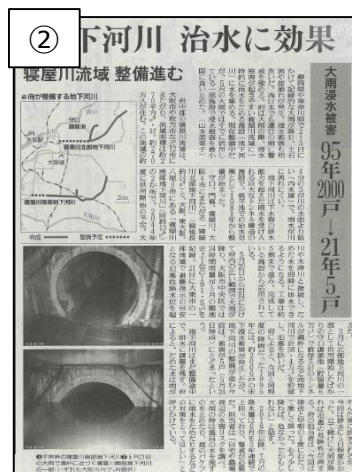
### ★寝屋川流域総合治水対策事業等に関する報道一覧(R3年度)

日時	内容	
5月26日	NHK「ニュースホット関西」 寝屋川治水緑地について	
6月3日	読売テレビ「関西情報ネットten」 地下河川について	①
7月6日	読売新聞 地下河川・増補幹線について	②
8月17日	関西テレビ 地下河川・増補幹線について	③
8月20日	日本経済新聞 地下河川について	
1月1日	毎日新聞 寝屋川流域、地下河川・三大水門について	④
1月16日	朝日新聞 寝屋川流域ウォークイベントについて	
2月9日	朝日新聞 下水道デザインマンホールについて	⑤

**広告換算値 21,252,000円**

(●テレビ: 3回 ●新聞: 5回)

(昨年度 8,007,900円 テレビ: 2回 新聞: 3回)



## ひがしおおさか体感まち博(大阪府)

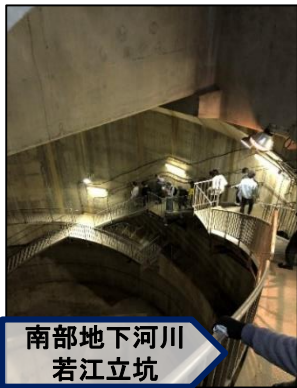
### 概要

- 開催日 令和3年11月19日(金)
- 参加者 13名  
(各回の定員を10名として2回実施)
- 参加費 無料
- 内容 寝屋川流域の概要、施設紹介

定員の約4.5倍の  
申込みがありました!!



地下河川の奥まで歩きました



南部地下河川  
若江立坑

### 【アンケート結果】

- ①治水について理解できた **100%**
- ②「防災」の重要性について理解できた **100%**
- ③見学会の満足度 **92%**

## 地下施設(新家調節池) 撮影ロケイベント

### 概要

- 2021年4月21日(水) コスプレ撮影ロケ
- 2021年12月19日(日) 撮影ロケイベント
- 2022年3月16日(水) コスプレ撮影ロケ

参加者にSNSへの投稿時は、  
「#寝屋川流域協議会」「#新家調節池」  
「#流域治水」をつけていただくよう  
お願いしました。

### SNS発信状況

「#新家調節池」の投稿数  
236件 (R3年度実績)

(参考)R2 127件



イベント時のようす

## 城北インフォメーションセンター見学

### 概要

現在工事中の寝屋川北部地下河川城北立坑の現場内の事務所の2階に  
インフォメーションセンターを設置。

### 内容

- ・総合治水対策や、工事について説明
- ・地下河川のVR動画
- ・事務所から現場を見学

来館者数 665人  
(R4.3末時点)



センター内部のようす

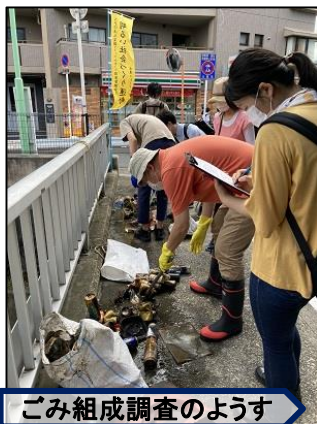


## 谷田川での清掃活動

大阪産業大学や地域団体等と連携し、谷田川の清掃活動を行うとともに、河川のごみ対策について啓発を行った。



清掃活動のようす



ごみ組成調査のようす

## 安治川水門 web展示交流会

新安治川水門web展示交流会を開催し、寝屋川流域における水環境の取組みを紹介した。



府域全域の水辺の取組紹介



絵画コンクールの応募作品展示

## 茨田いちょうまつり

11月21日に茨田樋遺跡水辺公園で、子供たちが水辺に親しむ場を作る、「茨田いちょうまつり」を開催！



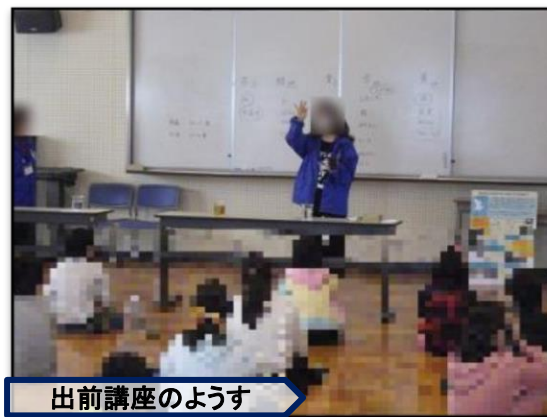
防災パネル展示



Eボート体験のようす

## 出前講座

11月に八尾市内の小学校で出前講座を行い、身近な川の歴史や、水環境と生き物、水害等について啓発を行った。

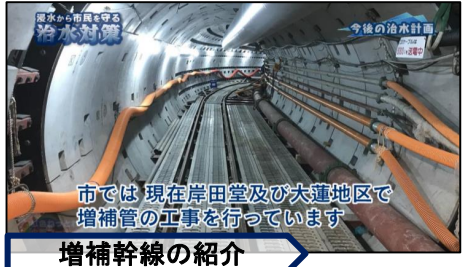
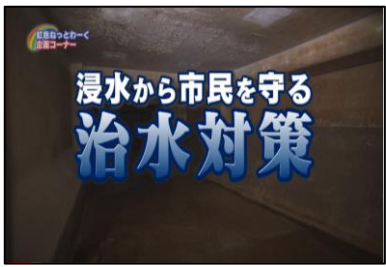


出前講座のようす

各機関における広報活動 ③各機関における広報活動

東大阪市Youtube

ケーブルテレビ「虹色ねっとわーく」にて放映されました！  
 【放映日：9 / 6 (月)～9 / 12 (日)】  
 東大阪市役所Youtubeチャンネルの再生リスト「上下水道」に動画掲載！



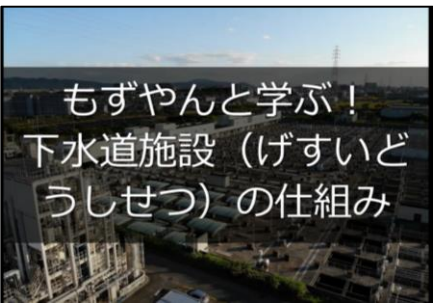
寝屋川水系改修工営所Youtube

施設内の360度カメラ映像や大雨時の地下河川への雨水流入映像を公開！



大阪府東部流域下水道事務所Youtube

大阪府広報担当副知事「もずやん」がわかりやすく下水道処置のしくみを紹介！  
 企画・撮影・編集まですべて事務所の職員の手作りで作成しました★  
 もずやんTwitterでも発信していただきました！



八尾土木事務所Youtube

ゴミのポイ捨て防止啓発のため、八尾市の高安西地区で行われた恩智川クリーン・リバープロジェクトのようすを紹介しています！





## 国家要望

赤羽大臣 要望活動状況



奥次長 要望活動状況



### ◆要望内容

- ・未改修の河川整備や寝屋川流域総合治水対策などを推進するために必要な事業費の確保
- ・大規模施設の整備を重点的・集中的に推進するため、事業進捗に応じた財源措置
- ・「流域治水」の取組みを加速させるため、大阪府及び府内市町村が進める事前防災対策に必要な財政支援



**河川事業43億円、下水道事業108億円と必要な予算確保**

## 流域対応の進捗

■ 全体計画に位置付ける流域対応量400万 $m^3$ に対し、実績量148万 $m^3$ （進捗率：約34.1%）

参考）R2年度末 146万 $m^3$ （進捗率：約33.7%）

市名	目標量 (万 $m^3$ )	実績量 (万 $m^3$ )	進捗率 (%)	市名	目標量 (万 $m^3$ )	実績量 (万 $m^3$ )	進捗率 (%)
東大阪市	87.4	23.44	26.8	柏原市	4.7	1.03	21.9
大東市	19.6	13.52	69.0	門真市	18.1	6.77	37.4
守口市	18.8	5.82	31.0	四條畷市	6.1	10.48	100.0
八尾市	38.5	30.13	78.3	交野市	0.9	1.52	100.0
枚方市	6.1	3.60	59.0	大阪市	201.0	23.96	11.9
寝屋川市	32.3	27.33	84.5				
合計	全体計画：433万 $m^3$ 実績量：147.62万 $m^3$ 進捗率：34.1% (300 $m^3/s$ )						

令和2～4年度は、八尾市の大竹惣池でため池を活用した流域対策を実施。

## 流域水害対策計画の変更

特定都市河川浸水被害対策法の改正に伴い流域水害対策計画を変更する

1. 計画期間・対象降雨：気候変動等を考慮
2. 都市浸水想定：都市浸水が想定される区域等を計画に記載
3. 雨水貯留浸透施設：雨水貯留浸透施設整備計画を作成
4. 貯留機能保全区域：  
雨水等を一時的に貯留する機能を有す土地において、将来にわたって機能を保全するために区域指定を行う。
5. 浸水被害防止区域：  
警戒避難体制の整備のみでは高齢者等の要配慮者の生命・身体を保護することが極めて困難な土地において、区域指定することで、原則、開発禁止区域とすることができる。（洪水版レッドゾーン。）

引き続き施設整備を行い、寝屋川流域総合治水対策を推進していく

# 都市型水害に備える治水対策 ～寝屋川流域総合治水対策～

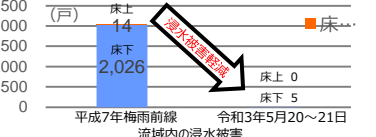
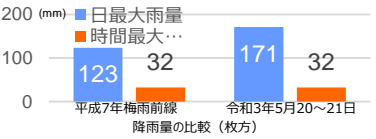
## 要望事項

近年の激甚化、頻発化する豪雨災害に備えるため、寝屋川流域では総合治水対策として、あらゆる関係者と治水に取り組む、**流域治水**を実施しており、その根幹となる**地下河川**、**下水道増補幹線**など、**事前防災対策への十分な財源措置**を講じること

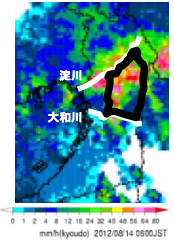
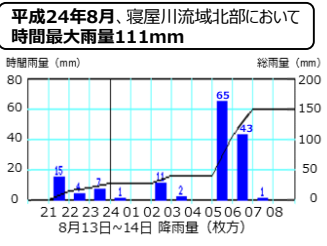
## 治水施設整備

**これまでの整備による貯留実績** 時間雨量30mm程度の降雨で効果を発揮

- ◆ 令和3年5月20～21日の降雨において、寝屋川流域では、枚方地点で時間雨量32mm、日雨量171mmを観測。
- ◆ 貯留施設（地下河川、調節池、遊水地）で約148.3万m<sup>3</sup>を貯留し、これまでの施設整備により浸水被害を大幅に軽減。
- ◆ 「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」を活用し、令和3年3月に供用した北部地下河川守口調節池が効果を発揮。
- ◆ 守口調節池の完成により、集水面積約1,600haで浸水被害を軽減。



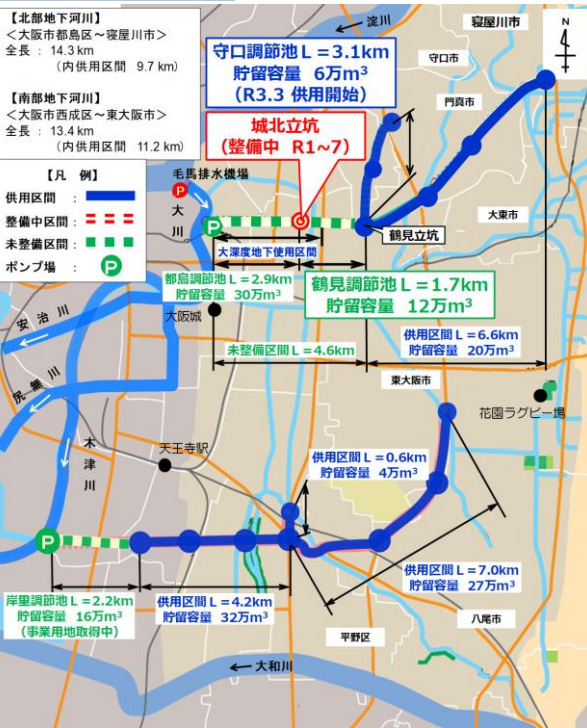
## 近年頻発する豪雨 時間雨量80mm以上の豪雨で浸水



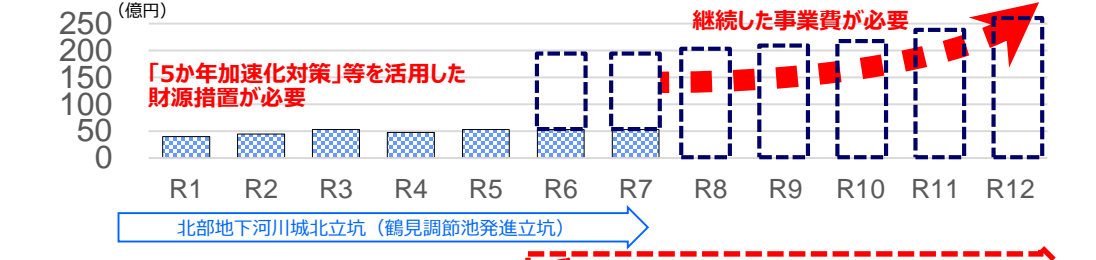
**【家屋への影響】**  
 床上浸水 2,554戸  
 床下浸水 17,080戸

引き続き、**地下河川**、**下水道増補幹線**、**流域調節池**、**遊水地**などの**ハード整備**が必要加えて、**寝屋川流域下水道の老朽化が進行！早急な改築更新**が必要（35年以上経過した雨水ポンプが25台/83台）浸水リスクに直結

## 地下河川の整備状況



## ■ 寝屋川総合治水 事業費の推移



「5か年加速化対策」等を活用した財源措置が必要  
 継続した事業費が必要  
 北部地下河川 鶴見調節池  
 南部地下河川 岸里調節池 (立坑)  
 北部地下河川 都島調節池 (立坑)

激甚化、頻発化する豪雨に備え、地下河川を放流施設としての早期運用が必要。  
 （地下河川を放流施設として完成させることにより、**流域の内水域約71%**で浸水被害を軽減。）



・城北立坑に続く鶴見調節池の整備のため、**「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」**等による財源措置が必要  
 ・地下河川の放流施設としての機能を早期に確保するため、**事業進捗に応じ、継続した財源措置が必要**

## 国予算確保に向けた要望活動について

要望日： 令和3年9月30日(木)

※大阪府河川協会要望に併せて実施

要望先： 国土交通省 赤羽大臣

国土交通省 吉岡技監

国土交通省 水管理・国土保全局 井上局長

国土交通省 水管理・国土保全局 植松下水道部長

財務省 主計局 奥次長

要望者： 野田東大阪市長（大阪府河川協会会長）

（事務局随行 大阪府河川室長）

※石川参議院議員同席

## ◆当日の主なコメント

## 赤羽大臣

- ・大雨の被害は続いているが、以前より被害は明らかに低減されており、3か年緊急対策の効果を実感している。
- ・治水施設の整備効果について、積極的にPRして欲しい。

## 奥次長

- ・近年増加している浸水被害に対し、大阪など都市部での対策の重要度は高く、機能的、計画的、弾力的に進めていきたい。
- ・住民に税金の役立て方、事業効果を理解してもらうことは大事。息長く進めてもらいたい。



赤羽大臣 要望活動状況



奥次長 要望活動状況

## ◆要望内容

- ・「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を活用し、未改修の河川整備や寝屋川流域総合治水対策などを着実かつ計画的に推進するために必要な事業費の確保
- ・大規模施設の整備を重点的・集中的に推進するため、事業進捗に応じた財源措置
- ・「流域治水」の取組みを加速させるため、大阪府及び府内市町村が進める事前防災対策に必要な財政支援

※国家要望(冬)については令和3年11月17日に事務局が資料配布



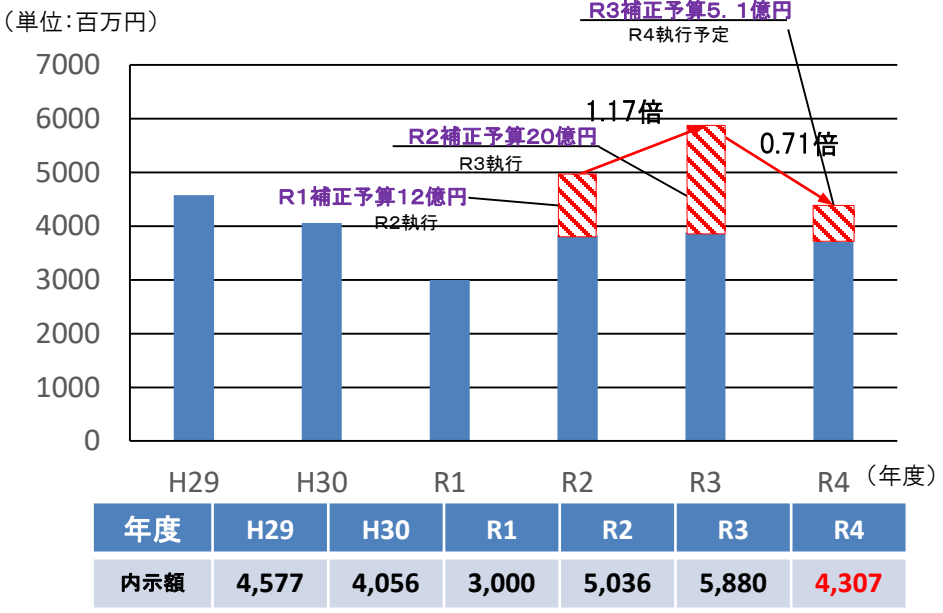
### ◆令和3年度 国家要望 成果

『防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策』を最大限活用し、R4予算としてR4当初予算とR3補正予算を合わせて河川事業で43億円、下水道事業で108億円と必要な予算を確保。

※大阪府の治水事業当初予算(交付金と補助金の合計値)は、全国2位の額を確保

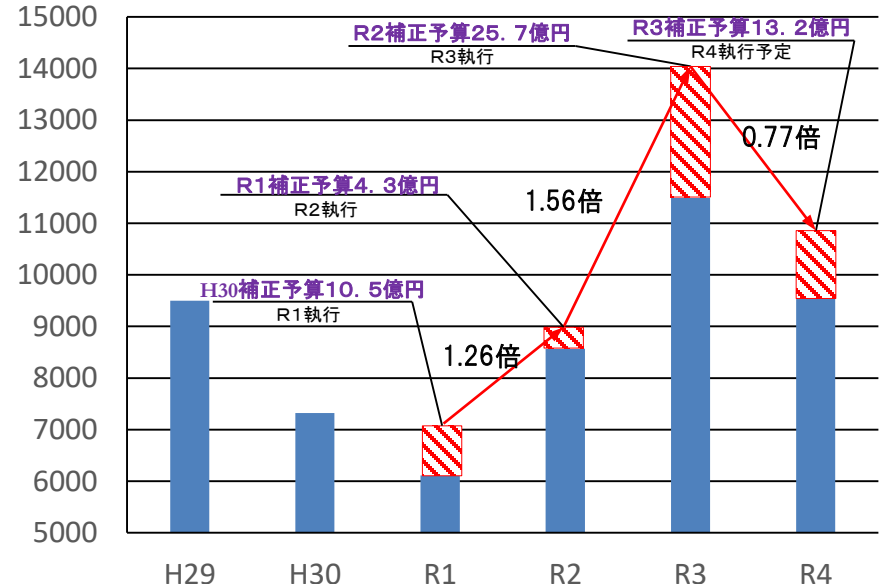
### ◆近年の国内示状況分析

《河川事業費》



(単位:百万円)

《下水道事業費》



### ◆令和4年度 国家要望 方針

R4年度の国家要望では、更なる予算確保を目指して、『大規模施設の整備推進のため、5か年加速化予算を最大限活用した財源措置』、『個別補助事業の確実な予算確保』を要望方針として活動する予定としている。

### 流域対応の現状

- 全体計画に位置付ける流域対応量400万 $m^3$ に対し、実績量148万 $m^3$   
(進捗率：約34.1%)  
参考) R2年度末 146万 $m^3$  (進捗率：約33.7%)
- 流域関係自治体が学校貯留を中心に対策を実施
- 公共施設の貯留は、学校数も限られており、学校校庭貯留のみでなく、  
流域内のため池や公園を活用した流域対応を促進

### 流域対応の進捗状況

(R4.3末時点)

市名	目標量 (万 $m^3$ )	実績量 (万 $m^3$ )	進捗率 (%)	市名	目標量 (万 $m^3$ )	実績量 (万 $m^3$ )	進捗率 (%)
東大阪市	87.4	23.44	26.8	柏原市	4.7	1.03	21.9
大東市	19.6	13.52	69.0	門真市	18.1	6.77	37.4
守口市	18.8	5.82	31.0	四條畷市	6.1	10.48	100.0
八尾市	38.5	30.13	78.3	交野市	0.9	1.52	100.0
枚方市	6.1	3.60	59.0	大阪市	201.0	23.96	11.9
寝屋川市	32.3	27.33	84.5				
合計	全体計画：433万 $m^3$ 実績量：147.62万 $m^3$ 進捗率：34.1% (300 $m^3/s$ )						

寝屋川流域でも平成29年度に四條畷市の室池、  
令和元年度に八尾市の恩智惣池にてため池を活用した流域対策を実施。

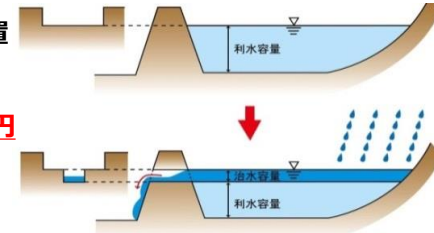


令和2～4年度は、八尾市の大竹惣池でため池を活用した流域対策を実施。

### 恩智惣池を治水活用した効果

- 貯留効果量：2,100 $m^3$   
(約82百万円の校庭貯留を設置することと同等の効果)
- 余水吐の改良工事：約300万円  
(事業主体：八尾市)  
 $300万円 / 2,100m^3 =$   
約1,429円/ $m^3$  (校庭貯留39千円/ $m^3$ )

ため池治水活用のイメージ図



流域水害対策計画に定める事項

寝屋川流域における  
流域水害対策計画の変更事項の概要

浸水被害対策の基本方針

計画期間

都市浸水の発生を防ぐべき目標となる降雨  
(計画対象降雨)

都市浸水想定(現況の評価)

・特定都市河川の整備  
・河川管理者が行う雨水貯留浸透施設の整備

河川管理者  
主体

・特定都市下水道の整備  
・特定河川都市下水道のポンプ施設の操作

下水道管理者  
主体

・雨水貯留浸透施設の整備その他雨水の一時的貯留、又は地下への浸透  
・雨水貯留浸透施設整備計画の認定に関する基本的事項

河川、下水道管理者  
以外の者主体

・都市浸水想定区域における土地の利用  
・貯留機能保全区域又は浸水被害防止区域の指定等  
・浸水被害の拡大を防止するための措置

～流域のあらゆる関係者の協同により促進～

1. 計画期間・対象降雨

- ・計画対象降雨については、各対策の実効性を考慮し、気候変動による浸水被害の頻発化や降雨量の増加分などを考慮して定める。
- ・ガイドラインでは計画期間は概ね20～30年が基本だが、寝屋川流域水害対策計画は八尾実績降雨を対象とする、計画期間を概ね60年とした将来計画。

2. 都市浸水想定

- ・特定都市河川に指定されている河川で、流域水害対策計画で対象とした降雨が生じた場合に、都市浸水が想定される区域及び浸水深を計画に記載する必要がある。
- ・区域ごとの土地の留意事項及び土地利用の方向性（都市計画、立地適正化計画等）に応じた浸水被害対策を計画に記載しなければならない。

3. 雨水貯留浸透施設

- ・雨水貯留浸透施設の設置及び管理をしようとするものは、雨水貯留浸透施設整備計画を作成し、認定を受けなければならない。
- ・雨水貯留浸透施設の規模の最低条件は雨水浸透阻害行為で確保すべき対策量を除いて、貯留量が30m<sup>3</sup>

4. 貯留機能保全区域

- ・河川沿いの低地や窪地等、河川の氾濫に伴い浸入した水や雨水を一時的に貯留する機能を有す土地において、将来にわたってその機能を保全するために区域指定を行う。
- ・区域指定の考え方・方針を計画で定める。

5. 浸水被害防止区域

- ・警戒避難体制の整備のみでは高齢者等の要配慮者の生命・身体を保護することが極めて困難な土地において、区域指定することで、原則、開発禁止区域とすることができる。（洪水版レッドゾーン。）
- ・区域指定の考え方・方針を計画で定める。



# 目的 生駒山系グリーンベルト事業の推進に関する検討・情報交換

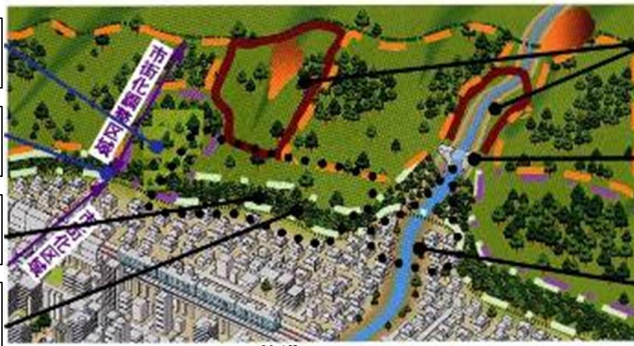
- 山麓部に広がる市街地への土砂災害に対する安全性の向上
- 生駒山系一連の緑地帯の形成による土砂発生源の抑制、流出土砂の調節
- 無秩序な市街化の防止・緑豊かな都市環境と景観の創出

都市緑地保全法に基づく緑地の保全

都市計画による山麓部の市街化の抑制

市民参加の森づくりの推進

植林帯の保全による安全の確保



整備イメージ

砂防指定地等の指定による開発行為の禁止・制限

砂防施設の整備による土砂災害対策

土砂災害防止法に基づく特別警戒区域内の土地利用規制及び警戒避難体制の構築

## 取り組み

### 土砂災害対策施設の設置

- ・土石流対策施設(砂防堰堤等)
  - 令和3年度:10箇所(内,1箇所概成) 令和4年度:9箇所
- ・がけ崩れ対策施設(待受擁壁等)の設置
  - 令和3年度:事業箇所なし 令和4年度:2箇所着手予定

### 市民参加の森づくり

- ・市民団体等との協働による森林保全活動
  - 植林活動等の継続
- ・生駒山系花屏風活動
  - 地元企業のアドプトなどによる花木苗の植栽
  - 生駒花屏風ハイクの開催(11月第2土曜日を予定)

### 土砂災害防止法に基づく調査や啓発

- ・指定済み区域における地形改変等の確認
- ・新たに判明した危険な箇所等での調査
  - (参考:令和3年度末時点 流域8市内指定数)
  - 土砂災害警戒区域 986箇所
  - (内、土砂災害特別警戒区域 895箇所)
- ・土砂災害に関する啓発や警戒避難の推進
  - 土砂災害防止法に基づく区域指定箇所(地域)における避難訓練等の実施
  - 土砂災害特別警戒区域内の既存家屋への移転補強支援



令和4年度も各取り組みを引き続き推進

# 土砂災害対策の実施状況（土砂災害から確実な避難に向けた対策）

## 大阪府

- 土砂災害の危険性がある箇所の調査及び区域指定（後述）
- 市町村が実施した避難訓練などの取り組みを府内全体で共有

## 市町村

- 土砂災害の危険性がある地区などでの避難訓練の実施
- 土砂災害特別警戒区域内の人家の移転等補助制度の周知及び活用

## 各市における取組の共有例（府ホームページにて公開）

### 土砂災害防止月間での啓発パネル掲示について

◆内容

柏原市役所は令和3年5月に新庁舎となり、庁舎からは大和川が見渡せるデッキも設置され、来庁者には見晴らしのよい作りとなりました。  
庁舎内の休憩スペース横と正面入り口横にある電子パネルに土砂災害防止月間中の令和3年6月1日から6月28日まで掲示し、市役所利用者の方に観覧いただきました。

◆掲示写真（柏原市役所庁舎内）

柏原市・大阪府

### 土砂災害特別警戒区域付近の住宅への対応について

◆経緯

近年、長雨や集中豪雨により、全国各地でがけ崩れや土石流等が発生し、人命や家屋などに大きな被害を与えているため、市民の土砂災害に関して理解を深め、日頃の備えや災害発生時の適切な避難行動につなげる。

◆内容

本市、土砂災害特別警戒区域（急傾斜地）の全151箇所の区域内の世帯へ土砂災害防止法のリーフレット資料を全戸配布し、土砂災害における避難準備等について周知を行った。

◆効果

- ・市民が土砂災害に関する理解を深め、災害時の避難場所等を把握することで防災意識の向上に繋がる。
- ・市職員による直接配布により現地状況が把握され、現状整理に寄与した。

枚方市

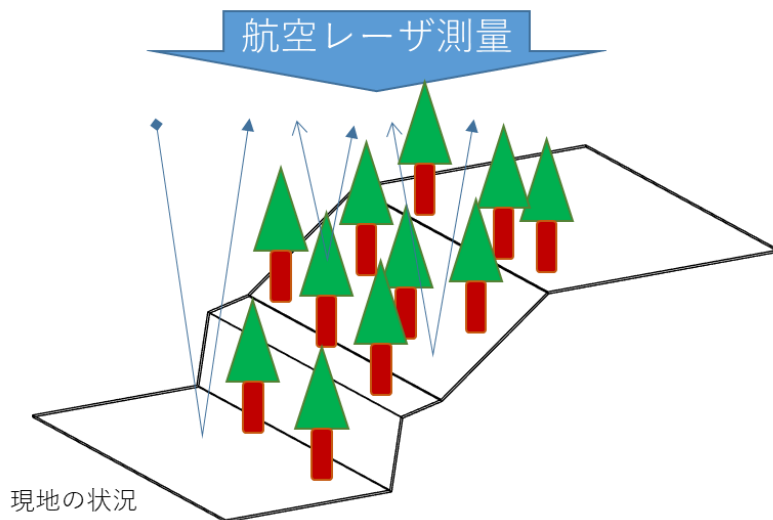
## 土砂災害防止法に基づく区域指定

土砂災害の危険性のある区域指定による警戒避難体制の整備や構造の規制

## ●区域指定箇所の地形変化

- ・調査指定後に斜面の状態や保全家屋などの変化があった箇所については、区域の形状の変更を実施(令和4年度より現地調査を予定)
- ・府による対策施設が概成した際には、逐次、基礎調査を実施し、区域の形状の変更を実施している。

## ●新たな知見に基づく調査箇所の抽出



航空レーザー測量により、現地の地形の高精度化



地形要件(30°以上かつ5m以上の斜面)の抽出



高精度な地形図により抽出した斜面において改めて基礎調査を実施し、区域指定を行う。  
(令和4年度中に抽出を実施、5年度から基礎調査)



生駒山系花屏風構想

- 目的 大阪の市街地から見渡せる生駒山系を屏風に見立て、府民との協働で花木や紅葉の美しい樹木を植えることにより、四季折々の花が咲き、次世代に残す大阪の誇るべき自然資源とする
- 位置付け ①『未来ビジョン大阪 (H20.12)』における「みどりの風を感じる大都市・大阪」の実現プランとしての『みどりの大阪推進計画 (H21.12)』に記載。「みどり豊かな自然環境の保全・再生」  
②「大阪ミュージアム」構想に重要な景観資源として登録



- 推進手法** 府民、ボランティア団体、企業、各種協議会など協働で実施
- ＊ 生駒山系の30年後の姿を見据えてヤマザクラなどの花木や紅葉の美しい樹木の植栽に取り組む
  - ＊ 平成21年度から15年間でおおむね10,000本を目標に植栽する。
  - ＊ 花や紅葉の名所が各市に一カ所以上配置されることを目標とする。

**整備対象** 人が集まるー「花広場」、街から望むー「花屏風」、人が行き交うー「花回廊」

◆取組実績(令和4年3月末見込み) 花木苗植栽本数計 10,476本植樹



**アドプトフォレスト**  
企業CSR活動による生駒山系花屏風活動  
8箇所、11企業(団体)(令和3年度)

**花屏風活動支援事業**  
ボランティア団体による  
生駒山系花屏風活動  
(四條畷市 令和4年1月)



生駒花屏風ハイク 令和4年度は四條畷市で開催予定(11月第2土曜日)